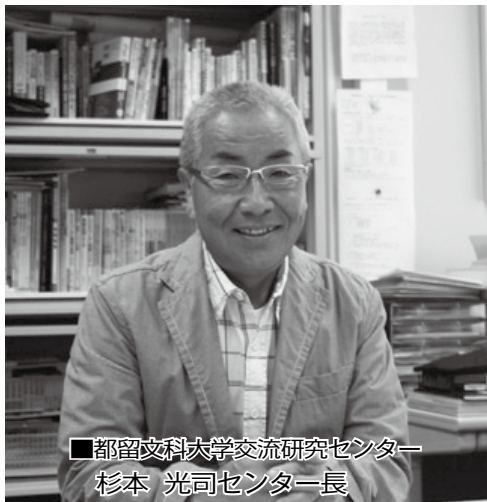


# 協働通信

今回は、まちづくり交流センター（旧文化会館）内に今年の4月からサテライト（分室）を設置した、都留文科大学地域交流研究センターの杉本光司（すぎもとてるじ）センター長にお話をうかがいました。



都留文科大学交流研究センター  
杉本 光司センター長

地域交流研究センターは、大学の役割として掲げられる「教育」「研究」そして地域との活発な交流を図りながら「地域貢献」に寄与できることを目的に平成15年に設置された機関です。これまでも市民の方々とともに、さまざまな活動や研究に学生や教員が取り組んできましたが、地域とより一層の交流促進のため、都留市と協定を結び、まちづくり交流センター内に地域交流研究センターのサテライトを設置することになりました。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター  
都留市中央3-8-1  
都留市まちづくり交流センター  
（旧文化会館）1階  
▽開館  
火～日（祝日除）  
8:30～17:15  
▽問い合わせ先  
mail : shien@city.tsuruyamanashi.jp  
☎ (43) 1321  
FAX (43) 1322  
※4月1日から移転しました。



自然観察会の様子(6月9日開催)

地域交流研究センターでは、都留文科大学の特色を生かした地域に根差す活動の柱として、三つの部門を設置しています。「フィールド・ミュージアム部門」「発達援助部門」、そして、「くらしと仕事部門」です。

「フィールド・ミュージアム部門」では、自然観察会の開催、機関誌『Field Note（フィールドノート）』の発行、カジカとカワラナデシコの保全活動、ミュージアム都留との連携事業などを行っています。「発達援助部門」で

は、市内の小中学校での学生・アシスタント・ティーチャー活動（SAT）の実践、地域教育相談、地域情報教育支援、地域美術教育支援などの活動を行っています。「くらしと仕事部門」では、地域で暮らす人々と仕事のありかたを探求しています。

このほかに、出会いと交流の場をつくる活動として、『地域交流センター通信』を発行しています。地域のニーズにこたえる地域貢献活動として、市民公開講座、子ども公開講座、文大ボランティアひろば、いこいのひろば、地産地消の研究、たんぼクラブ、谷三ッポの開催など、本学の教員が地域をフィールドとしたさまざまな取り組みを行っています。また、毎年、地域交流研究フォーラムを開催しており、今年度は10回目を迎えます。



『地域交流センター通信』

しかし、地域交流研究センターはまだまだ浸透されておらず、十分に活用されていないのが現状です。この度、市民の皆さんに身近な施設に地域交流研究センターのサテライトがオープンしたことにより、学生ボランティアの募集、地域の学習会への教員の派遣など、これまでになかったような声も寄せられ、その実現に向け検討を行っています。

今後とも中央公民館や市民活動支援センター、社会福祉協議会の職員とも連携しな

## 地域のお知らせ

がら、さらなる地域との交流を図っていきたくと考えていますので、市民の皆様からご意見やご要望を、まちづくり交流センターまでお気軽にお寄せいただきたいと思います。また、お時間がある方は、都留文科大学にもぜひ、立ち寄っていただければと思います。

### 東桂地域

東桂協働のまちづくり推進会

「おなん淵・鹿留川一斉清掃」実施

日時 7月15日(月)海の日

主催 東桂協働のまちづくり推進会  
東桂地区連合自治会

### 谷村地域

夢実現ひろば

「踊りの集い」

日時 7月25日(木)

行程 詳しくはお問い合わせください。

問合先

○中央公民館 ☎(43)1321

○藤江達 ☎(43)3028

担当 藤江達・藤江一・猿田・小石沢